

翻訳とは、ことばとは、それが生まれる世界とは。気鋭の韓日翻訳者2人がつむぎ合う、仕事、社会、人生。母語で書いたエッセイをお互いが訳した一編を韓日二言語で収録。

2人は翻訳している

すんみ 小山内園子

判型頁数◎四六判・並製・180ページ
装丁◎沼本 明希子
定価◎本体 1800 円+税
ISBN978-4-907053-78-9 C0095

2025 年
11 月下旬

文学作品を翻訳しながら、私は言葉の裏側（あるいは外縁）にあるものを見つめるような気持ちになります。―すんみ
最近気づきました。どの時間にも共通していたのは「翻訳」かもしれない。―小山内園子

2人は翻訳している すんみ 小山内園子



두 사람은 번역하고 있다 승미 오사나이 소노코

韓国フェミニズムムーブメントを牽引し、日本でも大きな話題となったイ・ミンギョン『私たちにはことばが必要だ フェミニストは黙らない』の共訳以来、翻訳家として、韓国の新しい文学、社会や女性たちの現状を伝える担い手として活躍するすんみ、小山内園子。

韓国から留学で来日し日本文学を学び、育児をしながら翻訳を行うすんみさん、報道ディレクター、福祉の仕事を経て翻訳の道に進んだ小山内さん。それぞれ選び歩んできた道と、翻訳の現場で生み出されることば、そして2人の友情が、深く心に迫ります。それぞれの母語で書いたエッセイをお互いに翻訳し韓日両言語で掲載、翻訳に興味のある方にもおすすめです。ぜひご展開の程よろしくお願いたします！

すんみ 翻訳家。訳書にキム・グミ『敬愛の心』（晶文社）、チョン・セラン『八重歯が見たい』（亜紀書房）、ユン・ウンジュ他『女の子だから、男の子だからをなくす本』（エトセトラブックス）、ウン・ソホル他『5番レーン』（鈴木出版）などがある。
小山内園子（おさないそのこ）韓日翻訳者。NHK 報道局ディレクターを経て、延世大学校などで韓国語を学ぶ。訳書にク・ピョンモ『破果』（岩波書店）、チョ・ナムジュ『耳をすませば』（筑摩書房）、など。すんみとの共訳書に、チョ・ナムジュ『私たちが記したもの』（筑摩書房）、イ・ミンギョン『失われた賃金を求めて』（タバブックス）などがある。

FAX : 03-3294-2177 〈JRC宛〉

mail : info@tababooks.com 〈タバブックス宛〉

◎取次 = JRC tel 03-5283-2230
fax 03-3294-2177

JRC を通して全ての取次への出荷が可能です。
◎返品は無期限で承ります【返品了解者：宮川】

貴店番線印	ご注文数	タバブックス	文芸／エッセイ	返品条件付き注文扱い
ご担当	様	2人は翻訳している すんみ 小山内園子 2025 年 11 月下旬 定価 本体 1800 円+税 四六判・180 ページ ISBN978-4-907053-78-9 C0095 新刊		